

令和4年度

京都市小学校 NIE 実践研究会 事業計画

◇研究テーマ

主体的に新聞とかかわり、新聞と対話することで、学びを深める子どもの育成

設定理由

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、本研究会では、「情報活用能力」の育成をめざしていくことが、最重要課題であると考えます。

子ども自らが新聞を手に取り、新聞と向き合うことで、自分の《問い》をもち、その解決に向けて取り組んでいくことこそ、主体的な学びを創造していくことになる。また、GIGA スクール構想の下、これまでの教育実践と ICT を効果的に融合させることで、より質の高い情報活用ができると考える。今後も NIE 研究会の活動の果たす役割はたいへん大きいと思われ、この研究テーマを設定した。

◇活動計画

月 日	内 容
5月13日(金) 15時～	京都府NIE推進協議会総会 会場:京都新聞社 7階 第7会議室 ※会長参加
5月18日(水)	京都市小学校 NIE 実践研究会 役員会 会場:オンライン
6月24日(金)	京都市小学校 NIE 実践研究会 総会 会場:オンライン 組織 本年度の活動方針 事業計画
7月(未定)	小中学生記者の文化財取材コンクール 京都新聞・京都古文化保存会 共催
7月・8月	京都府 NIE 推進協議会 実践者懇談会 場所:京都新聞社7階ホール オンラインとのハイブリッド予定 ※会長・実践校代表参加
8月4日(木)5日(金)	R4NIE 全国大会 宮崎市 (R5NIE 全国大会 松山市) ※会長参加
9月7日(水) 事務局必着	第13回「いっしょに読もう!新聞コンクール」応募受付と1次(地域)審査
11月予定	研究会授業公開
2月	本年度の成果と課題 活動の成果 次年度への課題

◇2024(令和6)年度NIE全国大会に関する件

日時(予定):2024年8月1日(木), 2日(金) 場所:京都市内の会議場

N I E 全国大会

24年 京都で初開催

「教育に新聞を」



N I E 全国大会の京都開催が承認され、運営態勢を決めた京都府N I E 推進協議会の総会
(京都市中京区・京都新聞社) — 撮影・増山遼

N I E (教育に新聞を) 活動について教育、新聞関係者や市民が集い、在り方を考える第29回「N I E 全国大会」が2024年8月、京都市で開催される。主管団体となる京都府N I E 推進協議会の総会が13日あり、運営態勢を決めた。N I E 全国大会の京都開催は初めて。

大会は日本新聞協会が主催し、京都府と京都市の各教育委員会が共催する。京都新聞社と、府内に拠点のある新聞

・通信社や教育関係団体でつくる府N I E 推進協議会が主管し、事務を担う。

全国大会は毎年、各都道府県持ち回りで開いている。新聞を教育に生かす活動に関連して、学校や教員による公開授業、取り組みの報告や交流、講演やパネル討論を行う。

新学習指導要領は、情報活用能力の育成に向けて新聞や統計資料の活用を図ることを明記している。デジタル端末の活用や、社会や生活に関わる多様な情報を収集、分析、表現する探究的な学習においてもN I E が重視されている。

る。

協議会の位藤紀美子会長(京都教育大名誉教授)は総会で「コロナ禍や紛争、災害が相次ぐ時代に、情報教育は極めて重要。成人年齢が18歳に引き下げられ、情報源がスマホなど個人的な物へと変化する中、確かな情報を基に判断する主権者・市民を育てるため、2年後の大会に向けてスタートを切りたい」と話した。

大会は24年8月1、2両日を予定する。全国大会は今年8月4、5日に宮崎市で、来年は松山市で開かれる。

(石崎立矢)